

【左から】新庄・鈴木・柴田組は運搬車両が頻繁に通行する地域を中心に清掃活動を実施／白岩土木建築は白山神社の参道やお宮周辺をきれいに整備／星川建設・星輪は町道のカーブミラー磨きなどに加え、十日町の山車小屋を設置



夏季安全大会にあわせて、町内の建設業各社が、清掃や草刈りなどのボランティア活動を実施しました。

星川建設(株)・(有)星輪並びに(株)新庄・鈴木・柴田組は6月29日に、白岩土木建築(株)は7月6日に、それぞれ実施。各社とも「普段からお世話になっている地域に恩返しをしたい」という思いから始まった活動です。中には15年以上も前から活動している会社もあります。

活動内容は様々。よく利用する道路脇の清掃や会社近辺の草刈りなどのほか、近年では金山まつりを盛り上げるために、若連の負担を少しでも減らしたいと、山車小屋設置のボランティアも実施されています。

町内の美化になることはもちろん、町の活性化にもつながるボランティア活動。各社ともに「社会貢献として、これからも継続して活動していきたい」と話していました。

建

建設業各社がボランティア活動「お世話になっている地域に恩返しを」

中

山間地域をもっと元気に 振興対策協議会現地研究会を当町初開催

中山間地域の特性を活かした産業振興や地域間交流促進を目的とした「全国中山間地域振興対策協議会現地研究会」が7月11・12日、当町を会場に開催されました。

会専門委員の片山和俊さんが、長年の景観づくりについて講演。また、農事組合法人いずえむ青柳栄一代表理事が、落花生栽培などの取り組み事例を紹介しました。2日目は街並み散策のほか、めぐたま園舎などを視察されました。



大規模化を実践する農事組合法人いずえむのほ場も視察された



本事業を生かして、これからも疾患の早期発見に取り組むと話す宮下さん

が

探知犬による研究事業の成果を報告 健康づくり講演会を開催

6月26日、講師に日本医科大学名誉教授の宮下正夫さんを招いて健康づくり講演会を開き、約60名が出席しました。

テーマは平成29年度から2年間にわたり取り組んだ「がん探知犬」による研究事業の成果。合計1280検体のうち、陽

性と判定し精密検査を受けた43検体のうち、4検体が胃などのがんと診断されました。宮下さんは「町の皆さんに感謝。貴重なデータを得ることができた」と話していました。来年度まで陽性判定を受けた方を対象にアフターケアを行います。

金

中学生が芸工大生とフィールドワーク 街なかを巡って魅力を発見!

7月5日、金山中学校の1年生が総合学習「金山学」で、街なか散策フィールドワークに取り組みました。

『講師』として迎えたのは山形芸術工科大学醍醐ゼミの皆さん。10班に分かれた生徒らに学生が付き添い、フィールドワークならではの見方など、テクニッ

クを伝授しました。この日は、主に町中心部を散策。改めて気付いた町の良さやインタビューを通して知った地域の課題などを、学校に戻り発表しました。

生徒たちは3年間をかけて、自分たち目線で地元金山町について考える力を養っていきます。



商店の方や街を歩く方にインタビューを行い、地元金山への理解を深めた

犯

罪や非行のない明るい社会を目指して 保護司が内閣総理大臣のメッセージを伝達

7月1日から31日にかけて「第69回社会を明るくする運動」が実施されました。

犯罪のない社会を目指すこの取り組みに先がけ、7月1日には、町の保護司4名が鈴木町長を訪問。運動への協力依頼とともに「犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちが再び地域に受け入れ、仕事や居場所を確保することが重要だ」といった内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。



④内閣総理大臣からのメッセージ。「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」が主題 ⑤保護司の星川忠一さん(安沢)、関喜美子さん(荒屋)、栗田かずおさん(七日町)、三上重光さん(柳原)【右から】



7月10日には荒屋地区で開催。約20名が参加され、多くの意見が出された

ま

ちづくりの課題や目標の共有化を 各地区で「町づくりフォーラム」開催

鈴木町長が各地区等に伺い、まちづくりに対するご意見を住民の皆さんから直接いただくため、「町づくりフォーラム」を開催しています。今年度は7月までに4地区で開催。現在、9・10月の開催地区や団体を募集しています。

農林業等の産業の低迷や少子化に伴う人口減少など、町においても地域課題は山積。フォーラムは、町民と行政とが課題や目標を共有するとともに、皆さんの知恵と工夫を町政に活用するための場でもあります。開催をお待ちしています。